

## セ ス ジ ス ズ メ ガ

Theretra oldenlandiae

種名



分類	鱗翅(りんし)目スズメガ科
形態的な特徴	成虫はハンググライダーのような翼形をした、茶色いガである。前翅に暗褐色と肌色の帯が入り、背中には2本の肌色の筋が縦に走る。 幼虫は、いわゆるイモムシと表現される体型で、全体が黒っぽく、気門より少し背側にオレンジか黄色の連続した眼状紋を持つ。付け根がオレンジで先端が白い尾角を持ち、歩く時は尾角を進行方向に平行に振る。非常に珍しいが、黄緑色の幼虫も存在する。
分布	ほぼ日本全土に分布する。
繁殖行動	成虫は初夏から秋にかけて発生を繰り返す。
生息場所	
食性	幼虫はヤブガラシ、ノブドウ、ホウセンカ、サトイモ、サツマイモなど、いろいろな植物の葉を食べる。幼虫の食欲は極端に旺盛で、作物の葉を食い荒らし、数日で畑が全滅することもあるので注意が必要である。農作業に於いては見つけ次第、駆除するのが好ましい。
生息環境への配慮	セスジスズメの幼虫は作物の葉を食い荒らす害虫であり、成長スピードが非常に早く、数日で数倍の大きさに成長する。
その他	

引用文献：ウィキペディアを改変